

令和元年度の市民参画事業にかかる取り組みの進捗状況について（報告）

1 市民懇談会等の開催

令和元年度 延べ 5 回（市民懇談会 4 回、わがまちミーティング 1 回）

(1) 市民懇談会

【第 1 回】 地域公共交通網形成計画（地域振興・交通政策課）

テ ー マ：『これからの守山の公共交通について話し合おう』

日 時：令和元年 6 月 22 日（土）午後 1 時から午後 4 時 30 分まで

場 所：北消防署 2 階 多目的研修室

参 加 者：60 名 [内訳] 一般 35 名、職員 F 7 名、学生 F 16 名、傍聴 2 名

※F はファシリテーター

話し合いの概要：

ステップ 1 「公共交通の役割ってなんだろう？」

〔主な意見〕移動手段・環境保全、コミュニティ形成、安心・安全、時間削減 等
ステップ 2 「守山市の公共交通の在り方として、今後大事にすべきことは？」〔主な意見〕バス停の位置・路線図の分かりやすさ（見やすさ）、使う人の立場に
立つこと、利便性、サービスの質・料金 等

ステップ 3 「実現に向けて、私たちはどんなことができるだろう？」

〔主な意見〕公共交通の利用者になる、マナーを守る、利用してもらえるような
情報発信、体験乗車できるような取り組みの実施 等【第 2 回】 第 4 次守山市男女共同参画計画および第 4 次守山市人権尊重のまち
づくり総合推進計画（人権政策課）

テ ー マ：『多様性を認め合い、誰もが住みやすいまちにするためには』

日 時：令和元年 9 月 28 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：北消防署 2 階 多目的研修室

参 加 者：43 名 [内訳] 一般 25 名、職員 F 6 名、学生 F 8 名、市民 F 4 名

話し合いの概要：

ステップ 1 「身近な人権問題とは？」

〔主な意見〕男女差別、職業差別（派遣社員等）、LGBTQ 差別、DV、障害者差別 等
ステップ 2 「なぜ人権意識と行動に違いが生じるのか？」〔主な意見〕助けようとする周囲からの攻撃が生じる、自己顕示欲、無関心、
ルールが明確でない（優先座席等）、余裕がない 等

ステップ 3 「課題を解決するために、私たちができることは？」

〔主な意見〕人権教育をもっと楽しめる企画にする、差別に関するデータを明示
する、子供への教育を充実させる、意識しなくとも目に入るような
情報発信 等

【第 3 回】 守山市スポーツ推進計画（文化・スポーツ課）

テ ー マ：『誰もがスポーツや運動に親しむためには』

日 時：令和元年 10 月 19 日（土）午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分まで

場 所：守山市生涯学習・教育支援センター（エルセンター）

参 加 者：41 名 [内訳] 一般 26 名、職員 F 5 名、学生 F 5 名、市民 F 4 名、傍聴 1 名

話し合いの概要：

ステップ 1 「習慣としてスポーツ・運動をしていますか。その理由は？」

〔主な意見〕はい：健康、体力維持、趣味 等

いいえ：時間がない、生活スタイルの変化、運動環境がない 等

当該資料は 2 月 20 日に報告済み

ステップ 2 「あなたにとってのスポーツ・運動との関わりは？」

〔主な意見〕 クラブチーム、友人からの誘い、家族との交流、日課の運動、仲間づくり 等

ステップ 3 「誰もがスポーツ・運動に親しむためには、私たちはどんなことができるだろう？」

〔主な意見〕 家事など身近なところから始める、場の提供と情報の周知の徹底、スポーツ・運動を始めた事例を紹介（時間がない人・子育て中の人向け）、宝探しイベント、オリ・パラ観戦（きっかけを与える） 等

【第 4 回】 自転車活用推進計画（地域振興・交通政策課）

テ ー マ：『あなたのできる自転車生活を考えよう』

日 時：令和元年 12 月 8 日（日）午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分まで

場 所：北消防署 2 階 多目的研修室

参 加 者：42 名〔内訳〕一般 27 名、職員 F5 名、学生 F4 名、市民 F4 名、傍聴 2 名

話し合いの概要：

ステップ 1 「あなたと自転車の「関わり」を共有しよう」

〔主な意見〕 乗る：通勤、混雑回避、コストの良さ 等

乗らない：車で満足、雨天に弱い、送迎人数の限界 等

ステップ 2 「生涯、自転車と関わり続けられるにはどうしたらよいか」

〔主な意見〕 ライトやチャイルドシートへの補助金、健康の意識づくり、自転車通行帯の整備、交通安全教室の実施 等

ステップ 3 「あなたの自転車生活を実現するにはどうすればよいか」

〔主な意見〕 自転車に関する教育を幅広い世代に行う、割引やごみ袋無料など金銭的メリットを作る、幼少期からの習慣を作る、走りたくなる安全かつ快適な環境づくり、危険箇所や自転車事故情報の開示 等

【総 括 ～全 4 回を通じて～】

①成 果

ア 参加者からは全般的に開催に前向き・肯定的な意見が多い

「様々な世代と話ができてよかった」、「普段あまり真剣に考えないテーマを考える良い機会になった」、「もっと簡易的でよいので数多く開催すべき」、「こうした集まりを続けていくことが重要」など。

イ ファシリテーターやグラフィッカーに対しても全般的に好意的な意見が多い
ウ 職員ファシリテーターとしての経験・スキルの醸成。ファシリテーターとして職員から新たな人材発掘と育成が出来た。

エ 市民ファシリテーターの活躍（第 2 回～第 4 回：各回 4 名ずつの参加）

オ 通算 17 回の実施（平成 24 年度から実施してきた中で、今年度は最多開催）
（H24：3 回、H25：1 回、H26：2 回、H27：3 回、H28：1 回、H29：0 回、
H30：3 回、R1：4 回）。

※H27：ワークショップ、H29：あすの守山ミーティング、H30：MMM

②改善点（実施における工夫）

【市民向け】

ア 市政広報番組「守山ニュース」（びわ湖放送）にて市民懇談会の模様を放送。

イ 活躍中の市民ファシリテーターへのインタビュー記事で P R チラシを作成。
市民向けファシリテーター養成講座の案内に同封。

ウ 市民ファシリテーターへの積極的な参加呼びかけ

エ 市民活動手引書「もり・まっち」の参加者配布

当該資料は 2 月 20 日に報告済み

- オ 参加経験者に市民懇談会傍聴案内や市民向けファシリテーター講座、まちづくりフォーラムなど案内を送付、市民活動に関する情報提供を積極的に図った。(第 4 回市民懇談会、わがまちミーティング)

【職員向け】

- ア 市民懇談会への理解と参加を促す目的で、職員向けファシリテーター養成講座について従来の係長以上から全職員までの受講対象者を拡大させた。
(参考 H29: 7 名、H30: 37 名、**R 1: 74 名**)
- イ 市民懇談会やファシリテーションへの不安を払拭し、興味を引き出すため、ファシリテーターとして参加経験のある職員にインタビューを行い、記事を作成・配布。
- ウ 庁内 LAN で市民懇談会の「守山ニュース」の視聴呼びかけ。ファシリテーターや市民懇談会の開催についての関心を持つきっかけを図った。

③今後の課題

- ア 市民懇談会での議論・提案が、施策にどのように反映されているか、について分かりづらいとの意見あり(アンケートから)。参加者に対するフィードバックの方法については引き続き検討が必要。
- イ 市民懇談会をきっかけに、市民活動に関心を持って貰った市民を、うまく市内の活動や活動団体と繋げる仕組み(体制)づくりが必要。(市民活動団体、活動とのマッチング等)

(2) わがまちミーティング(学区市民懇談会) ※開催予定

趣 旨: 守山学区にて 2 月に開催予定(5 年目)。守山学区まるごと活性化 A プロジェクトおよび龍谷大学政策実践・探究演習(国内)受講生と連携して実施。

開催日時: 令和 2 年 2 月 11 日(火・祝日) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

開催場所: 守山市生涯学習・教育支援センター(エルセンター)

参加者: 39 名[内訳] 一般 17 名、学生 F14 名、傍聴 1 名、学区 P J 委員 7 名

話し合いの概要:

ステップ 1 「未来のためにつくり・育むべき地域のつながり(関わり)とは」

ステップ 2 「そのつながり(関わり)をこれからつくる(これからも守り、育む)ためには、何が必要だろう」

ステップ 3 「そのつながり(関わり)をこれからつくる(これからも守り、育む)ために、私たちができることは」

今後の課題: 守山学区以外での開催に繋がる各学区への情報提供、説明が必要

2 市民提案型まちづくり支援事業の実施

市民公益活動団体の自主的・自発的に取り組むまちづくり活動を支援するもので、その活動経費に対し、各区分の設定金額に応じた助成金を交付するもの。

○応募団体: 18 団体[1 次募集(4/15~5/31)、2 次募集(8/1~9/13)]

○採択団体: 14 団体

①採択団体の内訳

- ・きっかけづくり事業 10 団体
上限 15 万円、補助率 10/10 同一団体への交付は 3 回限り
- ・ステップアップ事業 4 団体
上限 15 万円、補助率 1 / 2 同一団体への交付は 2 回限り
- ・自立事業化前提型事業 0 団体
上限 50 万円、補助率 10/10 同一団体への交付は 1 回限り

②成 果

- ア 事業 P R に、あまが池プラザ、うの家にも協力依頼。新たな団体からの応募に繋がった。
- イ 応募段階からコーディネーターが個別に窓口相談等に応じることで、事業計画をさらに深められ、分かりやすいプレゼンテーションに繋がった。
- ウ 採択後も、参加者募集などの相談にも丁寧に応じることで、広く各事業を市内周知することが出来た（市広報掲載など）
- エ 新規・既存団体を問わず、多くの市民活動団体から応募がいただけており、地域課題の自発的な解決や市民が新たに事業を始めるきっかけとして活用いただけている。
- エ 自治会から問い合わせ多数

3 市民活動手引書「もり・まっち」

市民活動に対し、関心を持ち、理解を深めていただくために、市民活動に関する情報やお助け情報を記載した市民活動手引書「もり・まっち 2019 年度版」を発行。
（市内関係施設 55 ヲ所に配置、総発行数 960 部、掲載団体数 127 団体）

①成 果

- ア 掲載依頼団体、発行部数ともに継続的に増加しており、市民活動を紹介する冊子として市内で定着している。
- イ 市民活動への関心醸成の一助となるように、市民懇談会参加者等に配布した。

4 ファシリテーター養成講座（職員向け）の実施

開催日時：令和元年 10 月 29 日（火）午前 9 時から正午まで…①
令和元年 11 月 18 日（月）午前 9 時から正午まで…②
午後 1 時から 4 時まで…③

（＊講座内容は 3 回ともに同じ）

開催場所：守山市役所 東棟 3 階大会議室

講 師：谷口 知弘氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）

参 加 者：計 74 名

①成 果

対象者を主事・主任級の若手職員までに広げ、開催時間を終日から半日に変更（凝縮）した結果、多くの参加者の受講につながった。（参考：H29・7 名、H30・37 名）

※H29 は終日講座を 1 回、H30 は終日講座を 2 回開催

5 市民ファシリテーター養成講座（市民向け）の実施

開催日時：令和 2 年 2 月 2 日（日）午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分まで

開催場所：市民交流センター

講 師：谷口 知弘氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）

当該資料は 2 月 20 日に報告済み

参 加 者：計 18 名（内、今年度市民懇談会参加者は 8 名）（参考：H30・5 名）

①成 果

市民懇談会参加者の内、ファシリテーションに興味を持っておられる方に案内を行ったところ、新規の申し込みが増加した。

6 ファシリテーター養成講座（フォローアップ編）（職員・市民向け）の実施

開催日時：令和 2 年 2 月 18 日（火）午前 9 時から正午まで…①

午後 1 時 30 分から 4 時 30 分まで…②

（＊講座内容は 2 回ともに同じ）

開催場所：コミュニティ防災センター

講 師：西川 実佐子氏（認定特定非営利活動法人しが NP0 センター）

参 加 者：計 52 名（内、職員 43 名、市民 9 名）（参考：H30・38 名）

①成 果

ア 職員の参加者数が伸びた（昨年度より 14 名増）。

イ 過去開催の市民懇談会参加者の参加があった。

7 パブリックコメントの実施結果（参考）

※R1・延べ 5 回

年度	件 名 所 管 課	意見募集期間	意 見 提出者	意見数
H31	第 2 期守山市教育行政大綱（案） 教育総務課	H31. 4. 1～H31. 4. 22	1	13
R1	守山市景観計画（案） 都市計画課	R1. 7. 8～R1. 7. 29	0	0
R1	守山市立地適正化計画（案） 都市計画課	H30. 7. 1～H30. 7. 17	1	1
R1	守山市子ども・子育て応援プラン 2020（案） こども政策課	R2. 1. 6～R2. 1. 31	-	-
R1	守山市子ども読書活動推進計画第 3 次計画（案） 社会教育課	R2. 1. 14～R2. 1. 31	-	-